

# 坂井市議会だより



坂井市

第43号

2017.2

12月定例会



表紙：初めて開催した高校生との意見交換会

## 主な内容

坂井高校1日議会塾	2~3	定例会審議結果	9
補正予算概要	4	常任委員会視察報告	10~11
広域連合・一部事務組合議会報告	4	一般質問	12~19
日程のお知らせ	4	特別委員会の紹介	20
決算特別委員会報告	5	Topics	20
常任委員会報告	6~8		



兵庫小学校 6年

ふくだ まゆ  
福田 真悠さんの作品です。

「坂井市議会だより」  
の題字は、



# 坂井高校 未来を語る 1日議会塾!

平成28年12月19日開催



**4 経済・観光の活性化**

**高校生**

- 坂井市の観光名所をPRする商業動画を制作し全国放送するなどして、全国的に認知度を向上させる。



18歳選挙権の導入を受け、坂井市議会では市の未来を担う高校生に市政や議会への関心を高めてもらうとともに、「坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」から政策の提案を受けるために、議員全員が坂井高校に出向き、3年生8クラス全員と『坂井高校 未来を語る1日議会塾』を開催しました。



**1 移住・定住の促進**

**高校生**

- 坂井市は、どんな場所で何がよいところかを実際に来て体験してもらうため、若者向けのツアーや、全国規模のイベントを開催する。
- 「家族で住みやすいまち」「子育てしやすいまち」ということをYouTubeやニコニコ動画などの動画サイトを使ってPRする。

**5 都市基盤整備**

**高校生**

- 市内に、若者が集うことのできる大型商業施設（アウトレットモール、遊園地、スポーツ施設など）を誘致し、観光の活性化や雇用の促進を図る。そのことによって、認知度も上がり、将来的には、移住、定住者が増加する。

**高校生**

- 高齢者が病院や買い物に行きやすいように、コミュニティバスの土日運行を含めた増便、および通学や帰宅の時間帯に間に合うように時刻の変更を実施する。



**2 少子化・高齢化対策**

**高校生**

- 結婚に結びつくサポートや、子育てしやすい環境づくりをする。

**高校生**

- 高齢者の健康維持を目的としたスポーツクラブの設置、施設の整備など、高齢者の方がスポーツなどを体験できる機会を増やす。



今回の取り組みによって高校生の皆さんが身近な市議会に関心を持っていただいたことはもちろん、市政について提案をしたことによって、自分たちの未来を自分たちで考えるきっかけになったのではないかと思います。

議会としては、生徒から出された意見を精査し、市長への提言または政策立案などに結びつけていきたいと考えています。

また、平成29年度は三国高校や丸岡高校でも議会塾を開催する予定です。

さらに、3高校の生徒の代表者を集めて、本会議場を利用した模擬議会の開催も視野に入れたいと思います。



福井大学教育学部の橋本康弘教授にアドバイスをさせていただくとともに、福井大学の学生さんが司会進行役を務めてくれました。

**3 女性の活躍促進**

**高校生**

- 男性が少しでも育児などに参加できるような機会（育児講座など）を設ける環境づくりをする。

## 決算特別委員会報告

# 平成27年度決算を認定しました

本委員会では、平成27年度の坂井市一般会計、特別会計および企業会計の計7会計について、平成28年10月4日～11月4日まで7回にわたり、事業内容の現状分析・事業成果の妥当性を明らかにし、費用対効果など改善点の洗い出しを行いました。

### 一般会計

歳入合計 384億496万9,836円  
歳出合計 373億5,093万169円

実質収支が9億3,856万円の黒字で、前年度実質収支を除いた単年度収支では8,912万円の黒字、財政調整基金積立金4億2,718万円を加えた実質単年度収支において、5億1,630万円の黒字となっているが、依存財源割合は1.9%増加していることから、将来を見据え、危機感を持って財源の確保に努めるべきである。

### 特別会計

○国民健康保険特別会計  
歳入合計 100億9,131万4,484円  
歳出合計 98億8,365万9,768円

○後期高齢者医療特別会計  
歳入合計 8億604万2,421円  
歳出合計 8億510万7,221円

国民健康保険特別会計については、単年度収支、実質単年度収支は、ともに7,496万円の赤字、国民健康保険税の収納率は82.2%と0.4ポイント下降しており、昨年度と比較してさらに厳しい状況にある。今後、保険給付費のこれ以上の増大を抑えるため、病気の予防や早期発見を主眼とした保健事業の充実を努め、市民の健康づくりなど多面的な対策を講じることが重要である。

### 企業会計

○水道事業会計  
○公共下水道事業会計  
○農業集落排水事業会計  
○病院事業会計

水道事業では1億566万円の赤字、公共下水道事業では4,580万円の赤字、農業集落排水事業では110万円

の黒字となっているが、ライフラインの確保に欠かせない事業であり、平成27年3月に開所した「上下水道お客様センター」には、さらなる市民サービスの向上と効率的な業務運営によるコスト削減の効果を期待する。

病院事業では、1億円の繰出基準外の補助を受けて6,665万円の赤字となっており、引き続き医業損失がある。懸案事項である医師、看護師不足の解消について引き続き対応していくことはもちろんのこと、平成29年度から始まる「新公立病院改革プラン」の策定に当たっては、適正かつ健全な病院経営となる有効な方策が立てられることを期待する。

### 今後は慎重な財政運営を

合併支援措置である合併特例債の発行については、平成32年度まで延長されたことから、国営パイプライン整備事業負担金の一括返還や福井国体開催に向けたサッカー場などの施設整備事業、コミュニティセンターなどの公共施設の複合化を含めた老朽化対策に加え、本庁舎の増築計画などにより、大きく増大することが見込まれる。市としては、起債残高の上昇、財政の硬直化も懸念されるところであり、今後は時代の経済動向に留意し、中長期財政計画に沿った慎重な財政運営が求められる。

### 用語解説

- 実質収支  
当該年度の歳入歳出差引額から、翌年度に繰り越すべき財源を控除した額。
  - 単年度収支  
当該年度の決算による実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額。
  - 実質単年度収支  
単年度収支に実質的な黒字を加え、実質的な赤字を差し引いた額。
- $$\text{実質単年度収支} = \text{単年度収支} + \text{財政調整基金積立金} + \text{任意に行った地方債の繰上償還金} - \text{財政調整基金取り崩し額}$$
- 財政調整基金積立金  
自治体が財源に余裕があるときに積み立て、不足するときに取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。
  - 合併特例債  
平成の大合併による新市町村建設計画の事業費として特例的に起債できる地方債。事業の95%に充当でき、国が返済の70%を負担する。

## 平成28年度 一般会計12月補正予算概要

補正額 **8億2,857万円** (補正後の額 423億4,434万円)

### 主な事業

◆まちづくり整備基金 2,000万円  
越前三国競艇企業団の事業収益を基金に積立。

◆臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業 2億6,527万円  
消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方々に対して、暫定的・臨時的な措置として支給する臨時福祉給付金など。

◆訓練等給付費支給事業 1,600万円  
障害者福祉サービスの利用者数および支給量の増加による給付費。

◆保育所施設整備事業 4,480万円  
幼保一元化計画に基づく、児童の保育・教育環境の充実を図るための増改築工事設計費および閉所施設の解体工事費。

◆農山漁村活性化プロジェクト支援事業 4,210万円  
ゆりの里公園のライトアップ整備など。

◆小学校管理事業 910万円  
磯部小学校、明章小学校、長畝小学校の放送機器修理および雄島小学校グラウンド外周フェンス修繕工事費。

◆国体推進事業 2,050万円  
三国運動公園多目的競技場改修工事における人工芝路盤厚の変更、暗渠排水管の設置等にかかる工事費。

### ● 議会を傍聴してみませんか ●

#### ★3月定例会会期日程(予定)

2月21日(火) 本会議(行政報告・議案説明など)  
2月22日(水)～24日(金)・3月21日(火) 予算特別委員会  
3月6日(月) 本会議(代表質問)  
3月7・8日(火・水) 本会議(一般質問)  
3月13日(月) 産業建設常任委員会  
3月14日(火) 教育民生常任委員会  
3月15日(水) 総務常任委員会  
3月23日(木) 本会議(委員長報告・採決など)

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。  
問い合わせ先 TEL 50-3001 議会事務局

### ● 議会報告会を開催します ●

2月の議会報告会は、12月定例会の議会報告と「合併10年 これからの坂井市を考える」をテーマに、下記の会場で開催します。  
市民の方はどの会場でも参加できます。みなさまのご参加をお待ちしています。

開催日時	会	場
2月14日(火) 午後7時～	新保コミュニティセンター 2階 ホール	三国町新保12-9 TEL 82-0355
	磯部コミュニティセンター 1階 多目的ホール	丸岡町下安田19-15 TEL 66-7430
	大関コミュニティセンター 2階 研修室	坂井町東12-5-1 TEL 72-1957
2月15日(水) 午後7時～	三国コミュニティセンター 3階 視聴覚室	三国町北本町二丁目1-33 TEL 82-6400
	のうねの郷コミュニティセンター 2階 大会議室	丸岡町八ヶ郷24-9 TEL 66-7446
	春江西コミュニティセンター 2階 集会室	春江町本堂22-15 TEL 51-5219

### ● 広域連合・一部事務組合議会報告 ●

#### 坂井地区広域連合

坂井市とあわら市で構成。  
介護保険・さかいクリーンセンター・代官山斎苑に関する事業を行う。

■平成28年11月：第55回定例会  
●平成27年度 一般会計歳入歳出決算認定について他5件を承認・認定・可決

主な議案  
・平成28年度介護保険特別会計補正予算(可決)  
・代官山斎苑の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

#### 福井坂井地区広域市町村圏事務組合

坂井市・福井市・あわら市・永平寺町で構成。  
主に清掃センター、YONETSU-KANささおかの運営、電子計算組織(福井市を除く)の共同利用を行う。

■平成28年11月：第167回定例会  
●平成27年度 一般会計歳入歳出決算の認定について(認定)  
●平成28年度 一般会計補正予算(可決)  
●監査委員の選任について(同意)

#### 五領川公共下水道事務組合

坂井市・永平寺町で構成。  
九頭竜川麓川敷およびその周辺の区域に係る公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理に関する事務を行う。

■平成28年10月：第97回定例会  
●議員代表監査委員の選任同意について(同意)  
●平成27年度下水道事業会計資金不足比率の報告  
●平成27年度下水道事業会計決算の認定について(認定)

# 教育民生常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 市民福祉部

- 問** 鳴鹿幼保園の工事設計業務について、入札方式で実施するのか。
- 答** 指名競争入札方式により業者選定を行う。
- 問** 民生児童委員の範囲が、300戸を超えると支障をきたすのか。
- 答** 300戸以上のところが、各民生児童委員協議会ごとに2～3カ所あり、世帯数だけでいうと支障があると考えます。
- 問** 非課税世帯の高齢者インフルエンザ予防接種を無料化にできないか。
- 答** 今のところ、無料化は考えていない。
- 問** 平成28年10月1日より定期接種になった0歳児対象のB型肝炎ワクチンは、3回接種するために、おおむね半年を要するが、4月、5月生まれの子が対象から外れるのではないか。
- 答** 接種方法などを詳しく示した通知を予診票に同封し、1歳の誕生日前日までに予防接種が終了するように周知徹底する。

### 教育委員会

- 問** 雄島小学校フェンス修繕はもっと早く予算化できなかったのか。
- 答** 当初は小さな破損であったが、今回破損箇所が大きくなり、危険性が高くなったため計上した。
- 問** 春江町大牧地区で起きた集団登校時の事故について、通学路の改善策はあるのか。
- 答** 関係機関と協議し、通学路の見直し、道路や歩道の改善、交通規制の改善に取り組んでいく。
- 問** 教員の多忙化解消に向けての取り組み状況は。
- 答** 部活指導員を新たに配置し、学級運営支援員の拡充を図る。また、小学校で毎週月曜日、中学校で月2回の一斉退庁デーを実施している。

### 三国病院

- 問** 院内保育状況はどうなっているのか。
- 答** 11月までの稼働日64日のうち、21日間に延べ46人の幼児が利用している。

## 陳情

陳情第4号	教員の働き方の改善に関する陳情	趣旨採択
-------	-----------------	------

\*参考人を招致し説明を受け審査

### 〈主な意見〉

- ・提出者が言うとおりの切実な問題であるので採択でよい。
- ・理解できる部分もあるが、時間外勤務手当の支給制度を求める部分については、賛成できかねるので趣旨採択でよい。
- ・趣旨は理解できるが、時間外勤務手当を支給すれば、子どもと向き合う時間ができるかという点と違うと思う。

陳情第5号	(仮称)坂井市総合体育館の早期建設について	趣旨採択
-------	-----------------------	------

### 〈主な意見〉

- ・三国、丸岡体育館は国体に向けて改修を行っているため、趣旨採択であれば賛成。
- ・大災害が発生した場合の避難所として、従来の春江、坂井体育館は必要であり、耐震性を進めることが先決である。

## 所管事務調査

今後の子育て支援事業の参考にしたいとの趣旨で、市内4カ所の子育て支援センターで意見交換会を実施。そこで出された意見、要望について整理し、子どもの医療費窓口無料化について理事者に要望することで全委員一致した。



▲丸岡子育て支援センターでの意見交換会の様子

# 総務常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 総務部

- 問** 「坂井市と福井市の境界変更について」どれくらいの期間、協議されているのか。
- 答** 境界は、坂井市三国町米納津と福井市波寄町であり、平成17年から土地改良が行われ、その事業の中で協議され、境界変更に至った。
- 問** 福井国体のPR用の、封筒制作の内容は。
- 答** 国体推進課から依頼があり作成をした。同時に企業の有料広告や市のテーマソングの歌詞を入れたものも作成した。
- 問** 高齢者運転への交通安全に対する啓発活動をどのように強化するのか。
- 答** 広報さかいやケーブルテレビ、また交通安全教室で高齢者の交通事故を取り上げるとともに運転免許証自主返納の促進に努めている。

### 総合政策部

- 問** 竹田地区活性化事業について、お試し移住の施設利用として、どれくらい年間利用者を見込んでいるのか。
- 答** 竹田地区の空き家を利用し、延べ400人程度を想定している。
- 問** 「坂井市寄附による市民参画条例の一部を改正する条例について」返礼率について上限5割と言っているが、過当競争になった場合、上限率を上げることはないのか。
- 答** 導入目的が返礼品の競争ではないので、上限5割をめどとする。
- 問** 坂井市アンテナショップ(品川区戸越銀座商店街)の現状は。
- 答** オープン約4カ月で、約1万3,000人の利用客があり、売り上げは1,252万円になっている。

### 財務部

- 問** 財務書類作成支援業務について、なぜコンサルタントを利用しないといけないのか。
- 答** 職員でできる部分は対応するが、中には判断しづらい部分や、一歩踏み込んだ区分けが必

要になる事などから、コンサルタントを利用していく。

- 問** 耕作放棄地の固定資産税増額に係る課税対象額は。
- 答** 通常の農地の固定資産税は、評価額に55%を乗じた額に対し課税されるが、遊休農地については、その55%を乗じないため、結果的に税額は、約1.8倍となる。
- 問** 市内企業の平成27年度法人均等割と法人税割の企業数は。
- 答** 1号法人については、平成26年度1,476社から平成27年度1,510社に増えているという状況である。

## 陳情

陳情第3号	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について	不採択
-------	--------------------------	-----

\*参考人を招致し説明を受け審査

### 〈主な意見〉

- ・趣旨はよく分かるし、給料を払ったら控除し経費として認められる事が、納税の大原則。配偶者を正当な働き手として認めず、平等に扱っていない明治憲法下の流れであるので採択されるべき。
- ・租税回避防止のための第56条という色合いが強いと思っている。また、第57条において、青色申告の特例によって家族に支払う給与を一定要件のもと必要経費に算入することが、現行法で整備されているので、廃止する必要はない。



▲坂井市アンテナショップ(品川区戸越銀座商店街)

# 定例会審議結果

★12月定例会に提出された議案と議決結果 ○…賛成 ×…反対 △…欠席 —…議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議長	議員																									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
認定第1号	平成27年度坂井市一般会計歳入歳出決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成27年度坂井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成27年度坂井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成27年度坂井市水道事業会計決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成27年度坂井市公共下水道事業会計決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成27年度坂井市農業集落排水事業会計決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成27年度坂井市病院事業会計決算の認定について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成28年度坂井市一般会計補正予算(第3号)	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成28年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成28年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成28年度坂井市水道事業会計補正予算(第1号)	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	平成28年度坂井市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成28年度坂井市病院事業会計補正予算(第1号)	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	坂井市と福井市の境界変更について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	坂井市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	坂井市特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	坂井市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	坂井市税条例等の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	坂井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	坂井市寄附による市民参画条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	坂井市個人番号カードの利用に関する条例等の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	坂井市保健センター条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	坂井市都市公園条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	丸岡城条例の一部を改正する条例について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情第4号	教員の働き方の改善に関する陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第5号	(仮称)坂井市総合体育館の早期建設について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第11号	安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書提出について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第12号	政府に「経営所得安定対策」の継続を求める意見書の提出について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第13号	坂井市議会傍聴規則の一部を改正する規則	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 産業建設常任委員会報告

### 主な質疑内容

#### 産業環境部

**問** ちくちくぼんぼん(竹田農山村交流センター)の運営について、宿泊料を下げた料理の料金を上げる方が、宿泊の満足を得られるのではないかと聞かれています。

**答** 営業活動における手数料の問題も含め、宿泊、料理などの料金設定の再構築を検討していきたい。

**問** 丈競山の山小屋の整備が必要では。

**答** 県と再整備に向けた協議を詰めているところであり、早期整備に向けて要請をしていきたい。

**問** ゆりの里公園の周りの水田を四季に合わせた花畑にするなど、周辺整備も考えてはどうか。

**答** 地元住民による活性化協議会や準備委員会でも同様の意見があり、花の充実、遊具の充実、イベントの充実も含めて検討していきたい。

**問** ふるさと納税の返礼品は何か。

**答** 効果が出るようなものとして、農協、漁協などの団体と協議しながら、また、商工業に関する付加価値の高い商品を集めたいと考えている。

**問** 雑がみ専用回収ボックスを置いた反応は。

**答** 燃やせるごみの中に含まれるリサイクル可能な紙資源を分別回収するために、雑がみ回収ボックスを小学校および本庁、支所計7カ所に設置した。現在、雑がみを収集保管するためのバッグを作成し、広報紙や市ホームページなどで市民へ協力を呼び掛けているところであり、少しずつではあるが分別意識が浸透してきている。

#### 建設部

**問** 北陸新幹線用地取得について平成28年度内完了を目指しているが、坂井市の見通しは。

**答** 年度内に用地取得率90%はいくような感触は持っている。他の市町とそんなに見劣りするような進捗ではないと思っている。

**問** 福井港・丸岡インター連絡道路の丸岡スポーツランドまでの用地取得と工事着工の見通しは。

**答** 認可区域内全地区で概ね用地測量が完了し、用地取得をすすめている。また、埋蔵文化財の調査で一部工事が着手できないところがあると県から聞いている。

**問** 市内全域の空き家調査を行って、空き家対策をすべきでは。

**答** 「空き家等の適正管理に関する条例」の一部改正と併せて、空き家対策協議会を設置し、調査時期などを協議したいと考えている。

### 請願

請願第5号	政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	趣旨採択
-------	----------------------------	------

#### 〈主な意見〉

・農業者戸別所得補償制度とは以前の制度であり、今は経営所得安定対策でコメの直接支払交付金を行っている。また、復活ではなく、経営所得安定対策として継続を求める意見書にしてはどうか。

★発議第12号にて陳情をもとに一部修正して意見書を提出。(P9参照)



▲本庁舎正面玄関に設置された雑がみ専用回収ボックス

## 常任委員会視察の報告

委員会名	日程	視察先	内容
総務常任委員会	10/31~11/2	奥播磨かかしの里 (兵庫県姫路市)	かかしによるまちおこしの取り組みについて
		川西地区自主防災会 (香川県丸亀市)	川西地区の自主防災組織の取り組みについて
		高松丸亀町商店街 (香川県高松市)	丸亀町商店街再開発事業について
産業建設常任委員会	11/7~11/9	山口県萩市役所	・世界遺産登録について ・萩ジオパーク構想について
		山口県岩国市観光協会	まちなみ環境整備事業と観光事業における市民との協力について
		道の駅笠岡ベイファーム (岡山県笠岡市)	*PFI手法で整備された直売所の運営について
教育民生常任委員会	11/8~11/10	南吉成区学校給食センター (宮城県仙台市)	学校給食におけるPFIの取り組みについて*
		福島県伊達市役所	・健幸ポイントプロジェクトについて ・スマートウエルネスシティについて
		秋田県秋田市役所	エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)構想について

\*PFI手法…民間の資金や経営手法・技術力を活用して公共施設などを整備すること。

### 総務常任委員会

#### ■奥播磨かかしの里

この取り組みを始めたかかしの作者である岡上氏より、「定年を迎えた元気な方に、借家に住んでもらい、野良仕事や散策をしながら徐々に生活をし、介護や医療が必要になったら街に住んでもらう。元気な高齢者に限定して空き家を貸し付けていけば人も増えるのではないか。」という話を聞き、坂井市のまちづくりのヒントになると感じました。

#### ■川西地区自主防災会

この自主防災会の注目すべき取り組みは、企業と連携して取り組んでいることであり、企業の空きスペースを活用した備蓄倉庫や、ため池決壊時の避難ビルの指定など、企業自ら申し出てくれるとのこと。坂井市においても自主防災会の組織化を推進していますが、企業を巻き込んだ組織づくりや活動は、非常に重要なポイントであると感じました。

#### ■高松丸亀町商店街

この再開発は、全員同意型によ



▲奥播磨かかしの里のかかし

る再開発事業によるもので、絶対に全員同意などありえないと言われてきたにもかかわらず、土地問題の解決手法と併せてこれを見事に成功させました。成功の最も大きな要因は、本来地域が持っているコミュニティの存在です。シャッターがすべて下りている商店街でも、コミュニティさえしっかり維持していれば再生させるのは十分可能かもしれません。坂井市においても、コミュニティを大切にし、まちを壊さずにいかに再生・活性化していくか。そこに丸亀商店街の再開発のノウハウを生かしていけたらよいと考えます。

### 産業建設常任委員会

#### ■山口県萩市役所

世界文化遺産の認定により市民が受ける影響や制約事項という点については、既に景観法に基づき、これら文化財およびその周辺に緩衝地帯という保護地帯を定めており、世界遺産に登録されることで新たに規制を追加する必要がないため、問題はありませんでした。また、萩市民は、歴史を大切にし、歴史に誇りを持ち、既にこれら資源と無理なく共生していることを感じました。

#### ■道の駅 笠岡ベイファーム

この施設の市観光行政の位置づけは、観光振興の拠点であり、着地型観光の受入基地、玄関口としてここでの売り上げ、6次産業化などによる産業界への波及、観光消費額増大、雇用確保の増大、地域コミュニティの醸成などとなっております。

周りの人口は100万人余りあり、好条件の立地条件ですが、運営に当たる官民協働の体制づくりも大事であると感じました。

### 教育民生常任委員会

#### ■南吉成区学校給食センター

南吉成区学校給食センターのPFIは、民間が建設し、民間が管理運営し、15年後に仙台市に建物を譲渡するというBOT方式をとっています。BOT方式の採用理由としては、「民間事業者の創意工夫の自由度とインセンティブの余地を残すことが、経済効率性を高める結果につながる」ということでありました。坂井市におけるPFI手法の導入については、様々な観点から、今後、調査研究が必要だろうと感じました。

#### ■福島県伊達市役所

平成23年12月に「健康長寿社会を構築するスマートウエルネスシティ総合特区」の指定を受け、平成25年度に「伊達市健康都市基本条例」を制定し、総合政策として位置づけ取り組んでいました。

健幸ポイントプロジェクトは、日々の歩行や運動に励もうとする方に対してポイントを付与し、たまったポイントは地域商品券などに交換できるという取り組みです。この取り組みは、健康増進への人々

#### ■秋田県秋田市役所

秋田市では、エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現のため、高齢化対策の事業を5年サイクルで評価検証し、継続的に実施しています。これは非常に重要なことであり、坂井市でも、確実に高齢化が進展しているなかで、事業効果を確実に出していける手法であると思います。

のやる気を起こさせ、医療費の削減に有効ではないかと思われま



▲笠岡ベイファーム視察の様子



▲秋田市視察の様子

局地的豪雨に対し、迅速な初動対応が期待される小型レーダーの導入は

国土交通省が、即効性の高いシステムということで、市町村に積極的な導入を促している小型レーダーを使ったシステムは本市に導入予定はあるのか。

小型レーダーシステムは、風水害・土砂災害などを引き起こす恐れのある突発的豪雨や竜巻などの気象現象の解明、防災、交通機関の管理、規制に役立つ情報を入手し、観測情報を有効に活用できるもので、従来のレーダーでは観測していない場所を補完するものとして位置づけられている。現在実証実験が行われているということから、成果やガイドラインの内容が報告後、導入について研究していきたい。

本市における児童虐待の現状は

本市における児童虐待の年間件数はどれくらいあるのか。また、児童虐待への対応および救済システムはどのようなになっているのか。



渡辺 竜彦

本市における児童虐待の件数は22件である。

救済システムについては、通告、相談があり次第、児童家庭相談員と保健師の2名による安否確認を行い、緊急性がある事案の場合、児童相談所に直ちに通告、必要に及び、本市としても児童相談所の対応に協力を行っている。また、関係機関で、子どもなどに関する情報、考え方の共有、適切な連携が重要であるということから、坂井市要保護児童対策地域協議会というものを設置している。



児童虐待防止啓発ポスター



辻 人志

徒は年々増加している。

今後も引き続き、学校現場の実態に合わせながら、県に対して支援員の配置を強く要望するとともに、学校における教育活動を積極的に支援していきたい。

教職員の部活動指導の負担を軽減するため、外部顧問制度の導入を検討してはどうか。

県の教育委員会と協議し、平成29年度から部活動の指導や引率などの顧問業務ができる部活動指導員の配置に向けた予算化を進めている。



▲中学校の部活動(バレーボール)

ジオパーク活動による地域の持続可能な社会づくり、経済の発展を

東尋坊・雄島周辺の地質遺産の特徴は。

東尋坊は日本でも最大級の柱状節理が、福島の浜には何層にも重なった地層が、雄島には板状節理や美しい縞模様流紋岩がある。

植物化石や貝類化石も発見され、越前松島にある海食洞では縄文時代から古墳時代の土器や石器が出土している。

三国サンセットビーチから浜地海水浴場入りまでの31・4ヘクタールが国の天然記念物および名勝に指定されており、越前加賀海岸国定公園内にある。

ふるさとの大地の遺産を大切に守り、ふるさとの自然の魅力を子どもたちに伝え、そしてジオツーリズム(体験交流型観光)を通じて地域の持続可能な社会・経済の発展を図る「東尋坊ジオパーク」の認定を目指したらどうか。

認定には、行政と地元、地域の民間組織による連携と協力、地質学習の機会など、さまざまな取り組みが求められている。



前川 徹

地質学的な価値のほか、観光的な側面から考察すると、東尋坊・雄島・越前松島に限定せず、越前加賀海岸国定公園の指定を受けている加賀市から越前町入りまでの海岸線に点在する魅力的な海岸景観を観光資源と捉えることにより、集客力や周遊滞在性が高まると考えられる。

県をはじめ有識者や関係機関の協力を得ながら、周辺市町との連携も含め、ジオパーク認定の可能性を調査・研究していきたい。



▲東尋坊から北へ歩いて20分ほどにある、地層の観察には最適な「福島の浜」

※柱状節理…岩石中に発達した、五角形ないし六角形の柱状の割れ目。玄武岩や安山岩に形成される。

三国の海女文化のためにできることは

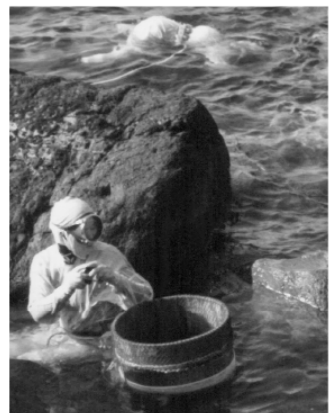
12月2日に韓国済州島の海女文化がユネスコ人類無形文化遺産に登録された。

日本では全国各地の海女が連携して「海女サミット」を開催しているものの、自治体間で海女文化の文化財指定の動きが遅れたことで、日韓同時の登録ができなかったようである。

女性による素潜り漁法、海女漁が民俗学的に産業学的に世界の高い評価を得たことを鑑み、市として三国の海女文化について保護支援のために何ができるのか。

県において、平成26年度に海女漁に関するアンケート調査を、平成28年度に実態調査をしている。県の調査結果を踏まえて、関係機関と連携して保護継承に対応したい。

また、平成29年度から「坂井市歴史文化基本構想」の策定に着手するので、その中で海女文化の保護支援を検討する。



▲海女漁の様子

※アウトソーシング…業務の一部またはすべてを外部に委託すること。



上出 純宏

支所の一課グループ移行による影響は

地域自治区制度の廃止を受けて、平成28年4月から支所の体制を一課グループ制に移行したが、半年を経て、どのような変化があったのか。

これまで以上に職員相互の連携が取りやすく意思決定と事務処理のスピードアップが図られた。

窓口が混乱しないよう、住民サービスが低下しないよう充実を図り、4つの支所の特性に配慮した必要な職員配置や、アウトソーシングも検討する。

教育条件・環境の整備充実を

市内の小中学校では市費による学級支援員が多く配置され、小中学校における教育活動の大きな支えとなっている。

今後その継続と拡充を図っていくべきと考えるが、平成29年度以降の方針は。

小中学校において、特別な支援を必要とする気になりな児童・生

地元就職希望者の奨学金支援は

**問** 坂井市に就職または後継者となる予定である学生に、ふるさと納税「ふるさと学生応援寄付」などの奨学金支援ができないか。

**答** 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、奨学金の返済費用の一部を助成するなどの必要性を掲げている。

**問** 財源については、市独自の寄附市民参画制度を活用し、奨学金返済支援事業として認定されれば、寄付金を充てることができるかと考える。

**答** 市内に魅力ある企業が数多くあることや、就業面を含めた本市の魅力に気づいてもらうシビックプライドの醸成が重要であると考え、高校生未来塾事業においては高校生親子の市内企業の見学ツアーを計画している。

**問** また、企業を中心に若者に特化した協議会を立ち上げ、地元企業のデータベースを作成し、就職を目前にした大学生に対して、企業説明会などに活用していきたい。

旧4町のそれぞれの町史を共有するための方策は

**問** 旧4町の町史は郷土に対する深い理解と愛情を与えるものである。ダイジェスト版として編集できないか。

**答** 平成29年度より、市の文化財の基本計画である歴史文化基本構想の策定を予定しており、埋もれている歴史や文化を掘り起こしていく。

**問** 市が誕生し10年がたち、誕生までの4町の歴史的な事実も含めダイジェスト版ができたらいと思っている。



▲明治の町・村から坂井市へ（みくに龍翔館での市制10周年記念特別展）



南川 直人

地域防災力の強化を

**問** 防災訓練は、行政主導型から住民が中心の方式へと移行すべきである。所見を伺う。

**答** 住民が主体となった訓練の実施は大切である。

**問** これからは、地域住民や地域の防災リーダーとなる方に訓練の主導的な立場として積極的に参加してもらえようを実施していく。

**問** 一斉防災訓練「シェイクアウト訓練」（まず低く、頭を守り、動かないを身に付ける）の取り組みはどうか。

**答** 平成29年度の防災訓練において、一時避難訓練の際にシェイクアウト訓練を、現在検討している。

**問** 避難所管理・運営マニュアルの中で、女性が生活しやすい配慮および災害弱者の運営体制など、今後の改善にどう取り組むのか。

**答** 平成29年度から各指定避難所の運営マニュアルを整備していく予定である。



▲平成28年度市防災訓練（雄島地区）

※指定動員…指定避難所になる各小中学校の近隣に居住する市職員をあらかじめ指定しておくこと。

学校防災力の強化を

**問** 指定動員の取り組みおよび防災拠点として、体育館のみでなく教室なども含めた管理・運営をすべきであるが、所見を伺う。

**答** 避難所の鍵を開ける手順や、災害時の参集体制を含めて検討していく。

**問** 教室などについては、被害の状況により使用することから、具体的な管理・運営などについて教育委員会などと協議しながら検討していく。



上坂 健司

コミュニティセンター利用促進のためにWi-Fi環境の整備を

**問** コミュニティセンターは、社会教育・生涯学習の場に地域づくり、まちづくりの拠点として、幅広い柔軟な活動への支援が可能となる施設であるが、Wi-Fi環境の整備は、まだされていない。

**答** 今回、市内の26あるコミュニティセンターでアンケートを実施したところ、8割が必要と答えた。

**問** 今後、積極的にWi-Fi環境を整備していくのか。

**答** 本年度よりコミュニティセンターの改修整備に着手している。Wi-Fi環境の整備については、幅広い年齢層をセンターに呼び込めることや、利用者間の情報交換や情報収集時の通信網の負荷軽減、災害時における緊急通信手段の一つとして避難所機能を高めるためにも有効であると考えている。

**問** 来館者が自由に利用できるロビーなどのスペースに無線LANルーターを設置するWi-Fi環境の整備について前向きに検討していく。

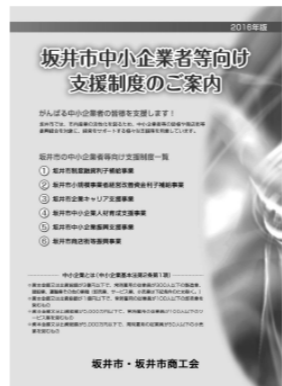


後藤 寿和

小規模企業支援のために中小企業省エネ設備投資支援補助金制度の導入をしては

**問** 省エネ効果の高い製品や外壁材などを導入することにより光熱費などの削減をし、生産効率を上げ、経営基盤の強化を図ることを目的とした補助金の導入を。

**答** 平成27年度から整備、運用している中小企業向けの支援制度の充実を図りながら、現状を把握していく。今後、補助金制度の見直しの中で、省エネ設備投資に関する支援についても関係機関の意見を踏まえ検討していく。



▲坂井市中小企業者等向け支援制度リーフレット

※Wi-Fi…無線LANを利用したインターネット接続サービス。(Wi-Fiは、無線LANの標準規格に付けられたブランド名)

フットサル専用体育館を造っては

**問** 全国的にフットサル競技人口が増えてきており、市内には平成29年度から始まる日本女子フットサルリーグに参加する福井丸岡RUCKががんばっている。

**答** 県などの支援を求めて、フットサル専用体育館を造っては、観客席の座席数やピッチサイズ、その他の条件があり現在の時点では困難と考えるが、将来に向けて考えたい。



川畑 孝治

ドローン(小型無人機)に関するルールを策定しては

**問** 国においてドローンに関する法律ができていますが、市内の観光地や都市公園などにおけるドローンに関するルールを策定しては。

**答** 今後、ドローンの幅の広い利用が期待できることから、一律に規制を行うことは難しい。

**問** 国の許可、承認を必要とする一定の制限について、市民への周知を適切に行いたい。



▲日本女子フットサルリーグ応援ポスター

※フットサル…五人制のミニサッカー。フィールドは、サッカーの9分の1程度の面積で、ボールは専用のものを用いる。



若者支援のために  
奨学金支援制度の充実を

**問** 平成27年度の有利子・無利子の奨学金を借りている学生は、全国で135万人いて、30万人近くが滞納している現状である。

**市** 市における、奨学金制度と利用状況について伺う。

**答** 他の奨学金を受けてない方が市の奨学金の対象となる。

貸与額は年間20万円で、無利子で卒業後10年以内に返済することとなっている。

**問** 県の事業にU・Iターン奨学金返還支援事業があるが、市においても、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に、奨学金支援制度がある。市の計画について考えを伺う。

**答** 人口減少対策として、若者のU・Iターンを促進するため、奨学金支援に対する財源確保も含め、調査・研究をしていきたい。

東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致の現状は

**問** 県の補正予算の動きがあったが、現在の進捗状況は。



▲東京オリンピック事前合宿誘致パンフレット

※対象者…本人または保護者が坂井市在住で、高等学校等に進学予定である者。



小原 慶之

**答** 日本陸上競技連盟や県と連携を図りながら大使館を通じ、積極的なPRを行い、さらに県の事前キャンプ誘致広報補助金制度を活用していく。

**問** 鯖江市のような事前合宿推進委員会を立ち上げる考えがあるのか。

**答** 市としては、条件が整い誘致決定に至った時点で、実行委員会を設置し、具体的な受け入れの準備、交流内容を検討していく。

降雪に備えた除雪対策の充実を

**問** 平成28年度の市の除雪基本計画の路線延長および基本体制について伺う。

**答** 平成28年度の除雪、消雪路線は総延長807kmである。除雪委託業者は83社、車道除雪機械は139台、歩道除雪機械は9台となっており、平成27年度より除雪体制を強化した計画となっている。

**問** 市内の除雪委託業者の廃業やオペレーターの高齢化などによる除雪能力の低下は喫緊の課題である。今後どのように対応していくのか所見を伺う。

**答** 平成27年度は1社が廃業し、オペレーターも高齢化している。現在、建設業協会に所属していない新規業者への除雪協力依頼や、オペレーターが複数名いる建設業者への除雪機リースの増強をはかり対応していく。

**問** 通学路など歩道利用者の安全確保のために、地域のボランティア団体やPTAが使えるスコップの

**答** 平成27年度から消雪設備の長寿命化に取り組んでいる。

**問** 市内の消雪装置が整備されてから20年〜30年経過しているため、平成27年度から消雪設備の長寿命化に取り組んでいる。

**答** 不良箇所については、降雪時に消雪機能の状況を調査し前向きに検討していく。



▲みどりのスコップと動き運動機（JR丸岡駅近くに設置）



川端 精治

設置などのさらなる除雪対策が必要と考える。市の所見を伺う。

**答** 除雪計画では、通学路である歩道23kmの除雪作業は車道除雪完了後の実施であるが、交差点などへのスコップ設置も検討する。

**問** 三国地区消雪パイプ路線の消雪機能不良箇所修繕について伺う。

**答** 市内の消雪装置が整備されてから20年〜30年経過しているため、平成27年度から消雪設備の長寿命化に取り組んでいる。

**問** 市内の消雪装置が整備されてから20年〜30年経過しているため、平成27年度から消雪設備の長寿命化に取り組んでいる。

**答** 不良箇所については、降雪時に消雪機能の状況を調査し前向きに検討していく。

学校給食は民間委託しない

**問** 今後の学校給食の方針について、新規の正規職員の採用ができないという理由で、民間委託も選択肢として検討されている。根拠は。

**答** 退職した正規の調理師を補充しない方針により、臨時職員で対応している。

**問** 調理業務などについて、民間の専門的な能力や競争力を活用する提供方法を考えている。

**問** 丸岡中、丸岡南中学校、鳴鹿小学校の給食の民間全委託は見直しが必要。

**答** また、学校給食は民間委託しないこと。

**問** 現在、民間委託している業務は、食材の調達を含めた内容である。

**答** 今後、献立作成や食材の調達など委託している業務の一部見直しについて民間業者と協議していく。

**問** また、民間の質の高い技術力やコスト意識などの活用が考えられる。

保育の質の向上と体制の充実を

**問** 保育所、幼保園、こども園の副園長をフリーにし、事務職員をおくべき。



▲市内幼保園での配膳の様子



畑野麻美子

**問** 国が定める保育士の配置基準より1、2名多く配置し、きめ細かな保育を実施している。

**問** 保育現場の事務については、最小限となるよう対応していく。

**問** 保育士の配置には臨時職員やパートが含まれる。

**答** 体制の充実が幼児教育の質の向上につながる。正規職員を増やすべき。

**問** 正規と臨時職員のバランスを取りながら、適正な人員の確保に努める。

**答** また、保育士の研修や意見交換会などにも積極的な参加を図る。

これからのシティセールス事業

**問** これまでの事業について、どのように評価を行っているのか。

**答** 具体的な成果として、東京でのアンテナショップの開設、全国シティプロモーションサミットの開催、現存12太守同盟など全国への情報発信の強化や、越前織「全国シティセールスデザインコンテスト」における越前織業界への参画、一筆啓上のPRや品川区との連携における市内の中高生の参画、さらには、えちぜん鉄道の駅名変更における沿線地域住民の参画などが挙げられる。

**問** これまでの事業で、継続する事業は考えているのか。

**答** 特に、品川区との連携により生まれたアンテナショップ、弘前市との連携から生まれた現存12太守同盟は今後も継続していかねければならない重要な事業である。

**問** リピーターを増やすための施策として何か考えているのか。

**答** 観光客が坂井市を訪れた際の好印象、次に訪れてみたいという新たな魅力の創出の2点だと考える。全国に向けシティセールスを行い交流を深めていくことは、リピーターを生み出す有効な手法の一つだと考えている。

**問** 関係課との連携をどのように考えているのか。

**答** 全庁において横断的な取り組みを行い、関係課との連携を図っていきながら、シティセールスにつながる情報を一元化し集約し、坂井市におけるシティセールス事業および関連事業の創出と推進に向け、組織的に取り組んでいきたいと考えている。



戸板 進



▲シティセールス事業レポート2015

本市の美しく活力ある  
農林水産業の政策は

**問** 2018年産米からの生産調整と、ポストコシヒカリの栽培拡大に向けての考えは。

**答** 国の情報を収集し、県や関係団体などと連携しながら、生産調整を継続していく。  
また、ポストコシヒカリは、平成30年の本格生産・販売を目指しているという。

**問** 栽培や生産については、農業者が取り組みできる施策を検討する。耕作放棄地の活用と、今後の中山間地の農業振興の考えは。

**答** 農地の有効な集積・集約を図る企業経営体、または大規模経営の誘致などを考えている。

中山間地の農業振興は、中山間地域などの交付金を活用して、農業生産活動の継続と体験農業の整備や農家民宿の開業など、中山間地域の特性を活かしたビジネスの促進支援も考えている。

**問** 林道沿いなどを整備して、\*特用林産物の学習体験や「ちくちくぼんぼん（竹田農山村交流センター）」の宿泊者向けの体験学習の考えは。



田中 哲治

**答** 竹田地区で行われているキノコ栽培などは、体験学習プログラムにアレンジして施設利用者に提供することは可能である。

**問** 本市の農林水産業の新規就業の実態は。

**答** 直近3カ年の新規就業状況は、農業で9人、水産業は12人、林業では1人である。



▲竹田地区特産のみどり干しぜんまい

※特用林産物…林野から産出される木材以外の産物。

指定管理者制度の活用で  
市立三国病院の改革を

**問** 今後の病院経営形態の見直しの考えはどうか。

**答** 現在、地域医療構想を踏まえた役割の明確化、経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しを柱とした新改革プランを作成中である。

この改革プランは、強い実効性を伴うもので、目標が達成できない場合は、指定管理者制度など、民間的経営手法の導入を図る必要がある。

**問** ある市では大学病院を指定管理者に指定したところ、病院側は、医師・看護師などの人材不足が解消し、安定した経営ができるようになった。

また、大学側は、研修医や若い医療スタッフに地域医療などの医療教育ができるなど、うまく機能しているようだ。

三国病院も福井大学医学部附属病院を指定管理者としては、

**答** 指定管理者制度については、以前にも検討し、関係者と話しましたが、大学としても医師・看護師不足ということで、そう簡単には指定管理者として、



佐藤 寛治

**問** 単に受けないと思っている。今後の三国病院のあり方について、市長はどのように考えているか。

**答** 三国病院の患者が少しでも多くなるように、医師・看護師・事務局が一体となって病院を運営し、市民に信頼される病院となるよう精いっぱい努力していきたいと考えている。



▲市立三国病院

子ども医療費の窓口無料化の実現を

**問** 子育て支援はもちろん、人口減少対策、少子化対策の観点から、直ちに実現する考えはないか。

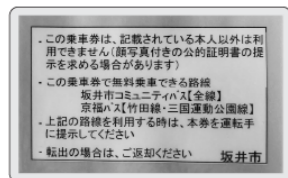
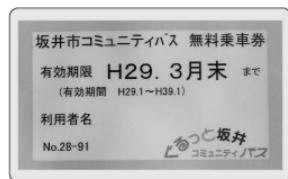
**答** 市として、県内全市町と連携し、県に対して、子育て世帯の負担感の軽減のため、窓口無料化における財政支援を含め、県下一斉の実施に向けて、県が主導的に取り組むことを強く要望している。  
市長として、できるだけ早く実現できるように努力していく。

高齢者の自動車運転免許証  
自主返納の促進を

**問** 自主返納の市の助成制度と状況は、どのようなものか。

**答** 自主返納の促進に対する制度は、コミュニティバスの10年間無料乗車券を交付するものである。  
65歳以上の運転免許者数は1万4138人、自主返納に伴うコミュニティバス無料乗車券の交付数は、平成28年11月末現在で349件である。

無料乗車券の期間を3年から10年に延長した平成25年からは、年間60件以上の申請があり、年々増加している。



▲坂井市コミュニティバス無料乗車券



永井 純一

**問** 自主返納の広報、周知はどのように行っているか。

**答** ケーブルテレビの行政チャンネルや、「広報さかい」に掲載したり、その他、ホームページへの掲載や、老人クラブ、高齢者を対象とした交通安全教室での広報に努めている。

**問** 自主返納や市民が、不便さを感じないために、コミュニティバスの本格的な見直しが必要と思うが、費用対効果の面からも、見直しは困難であると考えているが、今後は、ほかの支援事業との組み合わせも視野に入れ、さまざまな角度から検討したいと考える。

**答** 費用対効果の面からも、見直しは困難であると考えているが、今後は、ほかの支援事業との組み合わせも視野に入れ、さまざまな角度から検討したいと考える。

寄附条例の改正は、ふるさと納税の競争に参入するもの

**問** 市は、寄付の市民参画条例の改正を提案している。

寄付額の最大5割を返礼品に充てるもので、ふるさと納税の自治体間競争に参入するもの。

①これまでの姿勢を転換するものか。  
②ふるさと納税制度は、寄付の本来の趣旨を逸脱しているとは考えないか。  
③寄附条例に規定する事業として従来の事業以外に何を想定するか。  
④議員提案で作られた条例を改正する手順として、議会への配慮が不十分だとの認識はないか。

**答** ①本来の寄付は、見返りを望んだ行為ではなく、善意が前提という考えに変わりはない。  
②返礼品競争の現状を考えると、本来の趣旨とは違うのではないかと感じている。  
③市民公募し、検討委員会で決定する。  
④提案者のいかにかわからず、同様の手続きにより、議会に提案する。

障害者差別解消条例の制定を

**問** 4月に障害者差別解消推進法が制定された。法は、差別の定義があいまいで、合理的配慮の提供について、民間に対しては努力義務にとどまっている。  
法を具体化するために、障害者差別解消条例の制定を求める。

**答** 法は、その実効性の確保が課題。そのために条例を制定し、実効性を確保しようとする自治体が出てきている。  
先行して制定した自治体の効果を見極めながら検討したい。



松本 朗



▲寄附金募集のお知らせのチラシ

# 特別委員会では、こんな活動をしています

特別委員会は、特定の案件を審査または調査するために、必要な時期に必要な期間設置するものです。

## 総合交通対策特別委員会



公共交通に関する諸問題、またインバウンド推進や二次交通なども含めた観光事業の分野（観光地をつなぐルートやJR駅の二次交通など）について調査研究しています。  
また、平成28年11月18日に、「福井港丸岡インター連絡道路の整備に関する意見書」を福井県知事宛てに提出しました。

## 本庁舎整備特別委員会



これからの庁舎整備に係るさまざまな課題を検証し、市民サービスの向上や市民の安全・安心を守る防災拠点としての庁舎整備について調査研究しています。  
また、平成28年11月24日に、議会としての本庁舎のあり方について取りまとめた意見書を市長に、提出しました。

# Topics (平成28年12月)

## Topics 1

12月20日

東十郷小学校6年生58名のみなさんが、議場を見学を訪れ、議会のしくみを学びました。



## Topics 2

12月22日

「子どもの医療費窓口無料化（現物給付方式）の実現を求める要望書」を市長に提出しました。



## 編集後記

平成29年が穏やかな天気  
のなか、静かに動き出しまし  
た。  
地球儀を回しながら日本  
列島を見ると、その国土面積  
は全世界の1%にも満たない  
小さな島国ですが、その災害  
被害額は全世界の10%を超え、  
治安が良く暮らしやすい反面、  
災害リスクの大変高い国でも  
あります。本年が平穏な1年  
となるよう願わずにはいられ  
ません。  
さて、坂井高校での一日議  
会塾では、高校生から活発な  
意見をいただきました。選挙  
権が18歳からとなり、市政に  
自分たちの一票が反映され  
ることから、「一番坂井市の  
ことを考えている人に投票し  
たい」という意見にも重みが  
ありました。議員一同、期待  
に応えるべくさらに、『まち・  
ひと・しごと創生』に知恵  
を出してまいりたいと思いま  
す。  
今回の議会だよりも、読み  
やすさ、わかりやすさを求め、  
編集しました。ご愛読よろし  
くお願いいたします。  
(Z・Z)